



田町保育園だより

2023年11月

津山市田町29

TEL 22-5553

一年主題

「ともにつむぎだす～希望の中で～」

一年聖句

「キリストはおいでになり、遠く離れているあなたに、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。」

(エフェソの信徒への手紙2章17節)

『ちがう』

去る10月7日(土)、「運動会」が開催されました。子どもたちは、9月上旬より練習を重ねてきて、そして、ワクワクしながら迎えた本番では、緊張しながらも、精一杯にダンスや競技に励みました。その姿に、ご家族からも、大きな声援が沸き上がりました。

運動会の練習を見ていると、ときどき、上手に練習に参加できない子どもがいます。その子の中では、「みんなと同じにしなければ」という思いと、そうやりたくない気持ちとの葛藤があるのでしょう。そんな様子を見ながら、私は、自分の幼い頃を思い出しました。

私も、他人と同じことをするのが苦手でした。他人と同じことをさせられるのは、もっと苦手でした。子どもの頃から、私は「ひねくれ者」だったのです。

みんなと同じにできなかった子どもは、今、教会の牧師という、みんなとちがう仕事をしています。そして、教会にやってくる、みんなとちょっとちがう人たちと一緒に生きています。

人は誰であれ、他人とのちがいの中で自分を見つけ、自分を創り上げていきます。そして、互いのちがいを受け入れ、認め合うことで、それぞれの人生の意味を豊かにしていきます。だから、自分と他人がちがうことは、とても素晴らしいことなのです。

<11月のテーマ>

みつける (0歳児)

- ・ 興味、探究心が深まり、活動的になる。
- ・ たくさんの自然物に触れ、喜ぶ。

どれがいい (1・2歳児)

- ・ 自分で考えたことや思ったことを言葉にして表わす。

深まる (3歳児)

- ・ 友だちと同じイメージをもって、遊びを続けることもうれしくなる。

深まる (4・5歳児)

- ・ 思いを伝え合う遊ば中で、うまくいなくて困る経験や、気持ちが通じ合う喜びを感じる。

<お誕生児>お誕生日、おめでとうございます!

さくら 3名

きく 4名

ばら 2名

ゆり 1名



ただ、日本の社会は、「人とちがうこと」に、あまり寛容ではありません。だから、つらくなるときもあります。

みんなと同じにできない子どもは、人とはちがう苦勞をするかもしれません。しかし、その子は、いつしか、自分の中の葛藤を乗り越えて、みんなとちがうことを成し遂げていくでしょう。

運動会の練習風景を見ながら、みんなと同じにできない子どもに、私は心からの声援を送りました。

(牧師・副園長)

11月の行事予定

- | | | |
|-----|----------|-----------------------------|
| 11月 | 1日(水) | 観劇会 (きく・ばら・ゆり) |
| | 2日(木) | 消火・避難訓練 |
| | 3日(金・祝) | 休園日 (文化の日) |
| | 4日(土) | おべんとうの日 |
| | 7日(火) | 合同礼拝 (きく・ばら・ゆり) |
| | 9日(木) | 卒園旅行 (ゆり) |
| | 10日(金) | 交通安全教室 |
| | 14日(火) | 発育測定 |
| | 17日(金) | 収穫感謝祭 |
| | 23日(木・祝) | 休園日 (勤労感謝の日) |
| | 25日(土) | 参観日 (もも～ばら)
親子クッキング (ゆり) |

<報告>

☆ 運動会 10月7日(土)

実に、4年ぶりに、コロナ禍の制限のない「運動会」が開催されました。

子どもたちは、1か月間、練習を重ねてきました。いよいよ迎えた当日では、練習の成果を発揮しようと、一生懸命にダンスや競技に取り組みました。ご家族の声援を受けて、子どもたちの心は躍動し、その笑顔は輝いて、素晴らしい運動会になりました。

ご声援、ご協力に感謝いたします。

<お知らせ>

◎ 消火・避難訓練 11月2日(木)

消防署から、消防士や職員が来られて、消火などの指導をしてくれます。可能であれば、消防車も来てくれます。

◎ 収穫感謝祭 11月17日(金)

「収穫感謝祭」では、各家庭から持ち寄られた野菜や果物を囲んで、感謝の礼拝を守ります。その後、周辺の事業所に、園児と職員が、感謝を込めて、秋の収穫物をお届けます。

野菜・果物の持ち寄りに、ご協力ください。